

## 2023年度（令和5年）〈新・珍発見報告〉昆虫のまとめ

いつもたくさんの報告をありがとうございます。結果は身近な当市の昆虫を知る大切な資料となります。拝見するのを毎年楽しみにしております。

### 〈絶滅危惧種〉

以下のような絶滅危惧種の報告がありました。かっことはメッシュ番号です。

なお参考までに当市から知られる絶滅危惧種は、国が67種、栃木県が154種を確認していますが、絶滅したものも含まれます。詳しく知りたい方は、学校の図書館や足利市立図書館、市環境政策課にある「2018レットデータブックとちぎ」がインターネットでご覧になってください。

- ・マツムシ (21-65) (栃木県：要注目)
- ・モートンイトトンボ (19-61) (国：準絶滅危惧、栃木県：要注目)
- ・ハルゼミ (18-62) (栃木県：要注目)
- ・アオマダラタマムシ (17-61) (栃木県：要注目) ※【写真1】
- ・ゲンジボタル (15-58) (栃木県：要注目)
- ・ジャコウアゲハ (21-62) (栃木県：要注目)
- ・オオセイボウ (18-62) (国：情報不足、栃木県：情報不足)
- ・クツワムシ (栃木県：要注目) ※38ページをご覧ください。
- ・ハルゼミ (15-62) (栃木県：要注目)

### 〈外来種や地球温暖化に伴う北上昆虫〉

- 【外来種】・アカボシゴマダラ※【写真2】 ・クビアカツヤカミキリ ・アオマツムシ
- 【北上】・ツマグロヒョウモン ・クマゼミ ・ハラグロオオテントウ※【写真3】
- ・クロメンガタスズメ ・ナガサキアゲハ

※アオマツムシは1976年に栃木県では本市で初めて見つかりました。今では市内各地に多く見られます。大陸から渡来したという説が有力です。

※クマゼミは2021年度（令和4年）の報告に詳しく述べました。館林市では植木由来（植木の根に幼虫が紛れ込んだ）のものが定着しています。

※ハラグロオオテントウは急速に分布北上中の昆虫で、栃木県からは2022年に初めて当市で見つかりました。

※ナガサキアゲハは2012年頃から当市で見られるようになりました。

※モンキアゲハは北上昆虫として書いていませんが、当市で頻繁に見られるようになったのは1970年代以降です。これも北上昆虫となります。

※アカボシゴマダラ、ツマグロヒョウモンは画像鑑定依頼をご覧ください。



【写真1】  
アオマダラタマムシ  
(レポーター提供)



【写真2】  
アカホシゴマダラ幼虫  
(大川検討委員撮影)



【写真3】  
ハラグロオオテントウ  
(レポーター提供)

### 《その他》

レポーターのなかには詳しく名前を調べてくださった方がいました。例えば次のような名前の虫です。アオモンイトトンボ、ウスキツバメエダシャク、キロシリアゲアリ、シロシタホタルガ、セスジイトトンボ、トドノネオオワタムシなどです。名前調べにたいへんなお時間と労力を要したと思われまふ。おかげさまで貴重な資料となりました。画像による鑑定依頼もたくさんありまふ。興味深い虫をたくさん寄せてくださいまふ。こちらも当市の虫を知る貴重な資料となります。

なかにはテントウムシによく似て成虫では区別が難しいクリサキテントウのことまでご存じの方がいまふ。クリサキテントウは松につくアブラムシのみを食えますが、私は松にいまふクリサキテントウを見たことがありません。織姫山の歩道の手摺にいまふ幼虫を見つけたので、テントウムシとクリサキテントウの幼虫を掲載しまふ。また同じ場所でもクリサキテントウの成虫と思われまふものがいまふので画像を掲載しておまふ。



ナミテントウ幼虫  
(大川検討委員撮影)



クリサキテントウ幼虫  
(大川検討委員撮影)



クリサキテントウ成虫  
(大川検討委員撮影)